

第一次案内

第71回日本PTA全国研究大会 第53回日本PTA中国ブロック研究大会



広島大会

広島大会ホームページ

http://hiroshimaken-ptaa.com/study/71st_nippon/



2023年

分科会 8月25日 金

全体会 8月26日 土

変化の時代に向け、PTA自身が学びの変革を！
～見つけ 考え 変わろうや ぶち楽しいで！！～
広島から全国へ

ごあいさつ



公益社団法人
日本PTA全国協議会
会長 金田 淳

2020年初春から全世界に広がった新型コロナウイルス感染症のため、子供たちの学びの環境も、全国のPTA活動も従来とは違う形となっていました。しかし社会がどんなに予測困難な状況になろうとも、公益社団法人日本PTA全国協議会としては、日本最大の社会教育関係団体として、このような状況だからこそ出来ることがあるのではないか？と真剣に考え、決して学びを止めないよう活動をしてまいりました。

この広島大会は、「変化の時代に向け、PTA自身が学びの変革を！」～見つけ 考え 変わろうや ぶち楽しいで！！～広島から全国へのスローガンのもと開催されます。新型コロナウイルス感染症での社会の変化だけでなく、GIGAスクール構想、Society 5.0、コミュニティスクールなど、子供たちやPTAを取り巻く環境は大きく変わってきており、私たち自身がその変化に対し、主体的に関わり、学んでいくことが求められています。

今、家庭・学校・地域で子供たちを育てていこうという中で、家庭と地域の両方にまたがり、また学校とも関係性の深いPTAの役割は益々大きいものになってきています。私たちがしっかりと時代の変化を見据え、学びを続けていくことが何より大切なことではないでしょうか。

広島の地に多くの皆様が集い学びあうことで、子供たちのより良い教育環境の実現と、更なるPTA活動の発展に寄与する大会となるよう準備してまいります。心よりご来場をお待ち申し上げます。



第71回日本PTA全国研究大会 第53回日本PTA中国ブロック研究大会 広島大会

大会趣旨

昨今に見られる新型コロナウイルス感染症の世界的な流行は、これまで予想だにしないことが身近にあることを思い知らされました。学校では、様々な変更や対応を余儀なくされる一方で「教育の歩みを止めるわけにはいかない」という想いの中で、工夫と柔軟な対応で児童生徒のために力を尽くしています。

学校を取り巻く環境だけでなく、社会全体も大きく変わろうとしています。グローバル化の一層の進展、ICTの急速な進化により、広い範囲で人とモノがつながり、近い将来さえ予測困難な時代となってきています。このような時代を担っていく子どもたちは、様々な変化に主体的に向き合うとともに、他者と協働しながら価値の創造に挑み、よりよい社会を形成していく力自身につけていくことが重要です。

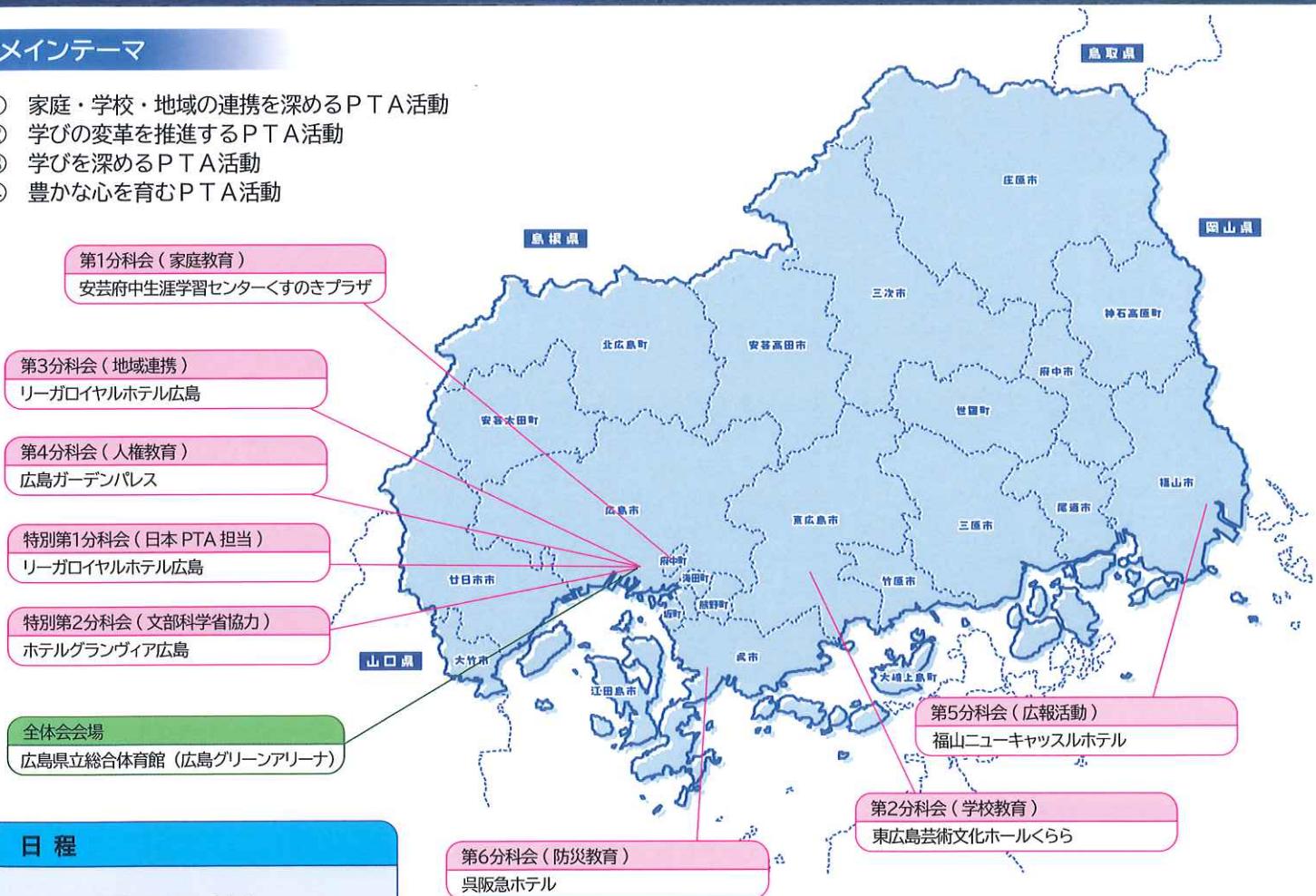
広島県では、学校において「生きる力」を合言葉に、自ら課題を見出し解決していく能力の育成が行われています。また、家庭・学校・地域が連携したコミュニティスクールや、「親力」を高め家庭教育のパワーアップを図る親学、各地での家庭教育支援チームの結成などの取組が進んでいます。

その広島の地での本大会は、これからのPTA活動を「できない」ではなく「できること」は何かを見つけ、対策を考え解決していくようにし、どのような状況でも私たちPTAは、家庭教育力をさらに高め、次代を担う子どもたちを社会総がかりで育成するために、当事者意識をしっかりと持ち、家庭・学校・地域をつなぐ唯一無二の存在という役割を改めて再認識する場にしていきます。

また、これらの社会情勢や家庭教育・学校教育・社会教育を取り巻く現状を踏まえつつ、不確実な激動の未来を生き抜く力「学びの変革」を柱に開催いたします。全国のPTA会員一人ひとりの考え方や価値観、体験を共有し、自分のものとして地元に持ち帰っていただきたいとともに、今までの知識や経験の上に立ちつつ、今後の激変する時代に対応できる、学習力・判断力・実行力を兼ね備えたPTAの創造を、本大会を通して共に考えていきましょう。

メインテーマ

- ① 家庭・学校・地域の連携を深めるPTA活動
- ② 学びの変革を推進するPTA活動
- ③ 学びを深めるPTA活動
- ④ 豊かな心を育むPTA活動



日程

分科会：8月25日（金）

広島県内8分科会（8会場）

全体会：8月26日（土）

広島県立総合体育館

（広島グリーンアリーナ）

参加者：全国小・中学校PTA会員及び
関係者 7,000 人

参加費：一人 5,000 円

全体会記念講演

演題：「心のトリセツ」～「迷け癖」を「意欲」に変える脳科学～



【プロフィール】

株式会社感性リサーチ代表取締役、人工知能研究者、感性アナリスト、随筆家、日本ネーミング協会理事、日本文藝家協会会員長野県生まれ栃木県育ち。奈良女子大学理学部物理学科卒。

ヒトと人工知能の対話研究の立場から、コミュニケーション・サイエンスの新領域を拓いた、感性研究の第一人者。脳の気分を読み解くスペシャリスト（感性アナリスト）である。男女の感性の違いや、ことばの発音が脳にもたらす効果に気づき、コミュニケーション・サイエンスの新領域を拓く。

8月26日
(土)